

えびぞん

立川と語ろう 立川に生きよう

October 2023

Écoutez Bien Vol.40 No.463

10

誰もが知るべき、観測からわかること





洋菓子舗 茂右衛門

美味しいお菓子、立川の味

明治22年からの立川住民。
それが茂右衛門のオーナー。
カラフルな飾りがいっぱい載っている、
というお菓子ではありません。
滋味という言葉がふさわしい。

生ケーキにはお酒が利いています。甘いだけじゃない。
苦みや塩気、素材の風味がしっかりわかる。
それが美味しさの素。
メリハリがあるおとなのお菓子です。
常温でいただくケーキもいいんです。
懐かしい味や温かい味、茂右衛門でないと食べられない。
砂川九番まで行っても食べたいケーキです。
店内もおしゃれです。



パリブレスト サクッという食感とともに、フランスが流れ込んできます



ボルドーのお菓子カヌレ、香りがとってもいい。
丸いおせんべいのようなものはスイカの種の焼き菓子です

立川市幸町4-36-2 洋菓子舗 茂右衛門
TEL 042-849-7098
営業日 金土日のみ
営業時間 11:00~18:00 (お菓子が無くなり次第終了)



手前の「あんこと黒蜜」は茂右衛門ならではのお菓子。見た目は和風、食べると洋風。



一番左はビールのケーキ。口に入れるとビール酵母の味。

国立極地研究所 創立50周年記念

ロケットや風船から電波へ

宙空グループの50年

フィールド系の典型。自分で自分を「観測屋」と呼ぶ。
でも実は、なんでもできてものすごくカッコいい!

——先生は宙空の研究をされていらっしゃるのですよね。

堤 私は観測屋です。極地研ではいろいろやらなければならないんですよ。何でもしなければならぬ。自分で南極へ行って、自分で穴掘って、アンテナ立てて、もうボロボロです。へなちょこが、にわか建設作業員をするわけです。それは、私だけではなく、みーんなそうしているんです。最初の計画案を作って学会で発表して、文科省に行ってお金をお願いしてとか、ゼーんぶ全部自分たちでするわけです。次にモノを買って船に積み込んで。書類も作って、通関手続きとかもみんなと一緒にするわけです。南極に行くと、建設作業をやって、帰ってきたら次に行く人の準備をしなければならない。研究機関といいながら、ここは事業所。だから忙しいんです。

——(笑) その事業所に、先生はもう何年いらっしゃるのですか。

堤 1995年からですから、28年ですか。——大気の何を調べているのですか。

堤 いろいろあります。ですが、私のやっていることは、明日のお天気にはほとんど関係ない。明日の予報よりもっとでかい話です。地球全体で大気がどうなっているかを知りたい。気候変動だとか、温暖化だとか、二酸化炭素とか。空気って地球の上をぐるぐる回っているんです。わかりやすいのは南極のオゾンホールです。南極では誰もフロンガスなんて使っていない。どこかで出たフロンガスが大気の中をグルグル回って、混ざって行って南極にたどり着いてオゾンホールを作り出す。そういう仕組みが知りたいんです。大気の動きの仕組みがわかると気候変動の仕組みもわかってきて、50年後、100年後の世界を知るための材料みたいなものになる。今まで南極で観測していなかっ

たので、それをやりましょうと、東大の佐藤薫先生を中心に一緒に頑張っています。

——以前パンジーレーダーのことを山内先生からうかがいました。

堤 そう。北極や他の場所ではレーダーで大気観測しているんですけど、南極には人がいないから大気レーダーはどれも小さい。世界でも有数規模のパンジーレーダーは南極では圧倒的にでかいわけなんです。オーストラリアの基地にパンジーレーダーの1/10くらいのものであるんですけど、パンジーレーダー以前はそれが南極ナンバーワンでした。その圧倒的にでかいレーダーを使って、南極外で観測している人たちと一緒に、地球全体の大気の動きを、どんなことになってんの?と観測して研究しています。

——どんなことになってんの?のどんなことがわかったのですか。

堤 北極で極域特有の大気現象が起きると、南極にも影響が及ぶ、逆のことも起こると理論的には考えられています。本当のところを観測で調べてみると、確かにそうだよ、とか、理論とはちょっと違うよ、とか、わかってきました。地球全体で大気はこんなふうにかきまわされて、今の状態になっているというのがわかりつつあります。

——地球の大気が混ざっていたのは大昔からですか。

堤 大昔からです。でも仕組みがよくわからなかった。たぶん混ざっているんだろう、例えば日本とかアメリカでフロンガスを出すと南極オゾン層に穴が開くから混ざっているんだろう、ということはわかっている。でも、本当にどんなふう動いて混ざっていくのかわからなかったし、50年後にどんな動き方をするのかわかっていない。結果だけ分かっては仕組みはわからないわけです。

——コンピューターによるシミュレーシ

ョンがよくありますよね。

堤 とても役に立つ研究手段です。実際のデータ、今南極はこうなっているとか北極はこうだとか、を元データとしてコンピューターに入れてやると、計算をしてくれます。が、南極の観測データがないと、適当なデータを入れてシミュレーションしても、もちろん予測結果は出ますが、「ほんとか、それ?」となるわけです。元データが大事なんです。これは地道な研究なんです。

——でも、パンジーはまだ10年くらいですよ。

堤 そう、10年ちょっと。大きい施設を維持するのは大変なので、あと5年くらいは大きいまま頑張るって、その後は縮小します。

——どうしてですか。

堤 除雪作業や発電装置の維持などが大変なんです。このために越冬する人も必要になりますし、さらに私みたいな者がずっと日本でサポートしなければならない。ですから、最初から観測期間は十数年と計画していました。残念ですけど、仕方ないです。何よりも人が大切なので。佐藤先生とか私のようなよくわかってる人がいてやっていますが、それを次の世代に押し付けるわけにはいかない。

——素人は残念だなと思います。山内先生にお話していただくより以前から、技術的にも取り組んでこられたと聞いています。

堤 長かったですね。10年かけて、ああしよう、こうしよう。当時まだ若かった私は実行部隊で南極に行きました。

——9月29日には創立50周年を迎えられますが、宙空グループの50年は。

堤 初期のころにはロケットを打ち上げていました。オーロラが出るとそこに向かってロケットを打ち上げて直接調べるわけです。カメラでオーロラを撮影するとか、ものす



ネットでも公開しています

くでかい風船をあげて上空の様子を測るとか、人工衛星で撮影した画像を使って調べるとか、もともと宙空グループは、そういう手法が主でした。でも電波を使った観測が最近が増えてきます。レーダーの場合、もちろん限界はありますが、何100km離れていても観測できます。電波を横に出して地球をグルッとなめるように調べる電離層観測用レーダーというものもあります。

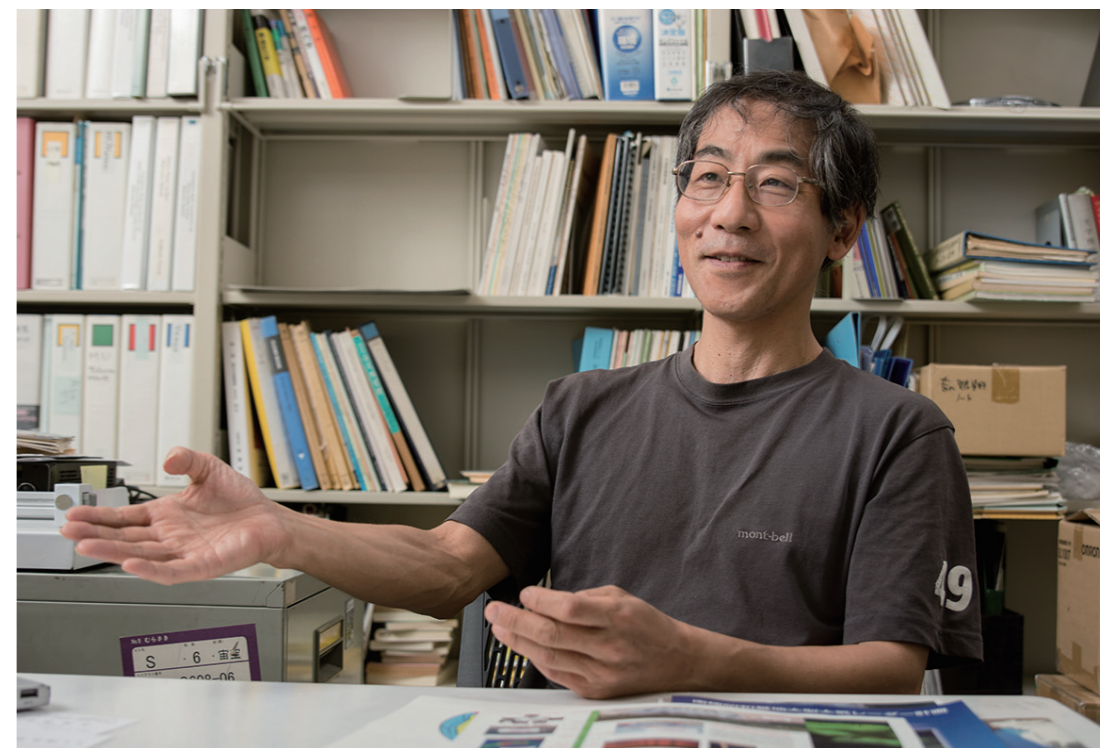
——それは何がわかるんですか。

堤 その説明はパンジーより難しい。電離層という高さ200~300kmくらいの所で何が起きているかを調べるためのレーダーです。オーロラとかの現象ってどんな風に起きているのか、わかっている部分とわかっていない部分があって、それを調べるために使っています。

——オーロラって、もうすっかり解明できているのかと思っていました。

堤 だいたい仕組みはわかっているんですけど、例えばいつ光るかと言われてもそれはわからない。太陽と地球が関係するすごく大きな規模の現象なので予報が難しいんです。地球が温暖化しているらしいとわかったのでさ、ここ何10年かのことですから。——2009年に藤井元所長が温室効果ガスの話をされて、それを掲載しましたが、反応がとて薄かった。一般人には気温上昇と異常気象が結びついていなかったようなのです。

堤 やはり自分の日常生活に入っていないと意識できない。極端現象が増えているのは事実で、先月号にもあった中村所長の「シ



ロクマがかわいそうと言っている場合ではない」という言葉はその通りです。人間が危ない。それでも私たちは大人ですから、逃げおおせるレベルです。私たちの命が終わる10年、20年、30年先、その頃は相当暑くなっているかもしれませんが、まだ逃げられる。でも、今の子どもはストレートに影響を被るでしょう。次の世紀の人になると、もう本当に大変でしょうね。そういう意味で、今生きている大人には責任がある。でも逃げおおせるので、そこがよくないんですよ。——自分が生きているうちはなんとかなるだろうって。

堤 無責任ですよ。取り返しがつかないレベルになるわけです。今でも手遅れ、もう間に合わないんです。でも何もしないよりはマシです。自然現象の中にはこんな変化はいっぱいあったと思うんです。温度が上がったり下がったり、何十億年の歴史をみれば、いろいろあったんです。ただ、今起きていることは速度が速すぎる。人間の活動によってボンと急に温度が上がろうとしている。それが怖い。大昔に気温が高かっ

堤 雅基さん

国立極地研究所 教授。宙空グループ グループ長。

香川県出身。南極でもうどんは自分で打っていた。京都大学博士課程修了。中村卓司現極地研所長の学生第1号。専門は大気物理学。南極へは5回、うち60次隊は越冬隊長。京都大学は工学部だったが、極地研では理学部のようなことをやりながら、バックグラウンドは工学部という状況。講演では必ず「今の大人は逃げおおせるが、今の子どもたち、孫の世代は高温になった地球から逃げることはできない。未来のために今できることを」と話している。

た時代はあったけれど、変化はゆっくりだったようです。今は、人間にとって都合の悪いことが起きてきているんですね。

——そうですね、昔は隕石がぶつかって気温が変化して、恐竜が滅んだんだし。

堤 わずか何千万年前のことです。その時に生き残ったやつが鳥になっていたりする。そういう意味では地球は大丈夫なんです。「地球にやさしい」って言いますが、「人間にやさしい」と言うべきですよ(笑)。フロンガス削減は、人間が頑張るって対応できない例なのですが、二酸化炭素はそう簡単にはいきません。「息するの、やめますか」ということになってしまう。電気を作るのに油を燃やすのをすぐにはやめられない。この事態を回避するには、それぞれの専門家が頑張る以外ないです。頑張るって欲しい。将来の科学に期待して「二酸化炭素回収技術ができるから大丈夫」なんて楽観視する人も、ごくごく一部いますが、それは無責任。こうしたごく一部の無責任な言動が拡散されるのが困ります。今の大人がなんとかしていないといけない事実です。

初代 中島福太郎	昭和三十二年
二代 久賀野辰彦	昭和三十二年
三代 影本虎三郎	昭和三十二年
四代 惠志常之助	大正五年
五代 河村正彦	昭和八年
六代 田中六郎	昭和八年
七代 片山榮蔵	昭和八年
八代 土屋資一	昭和八年
九代 結城明雄	昭和八年
十代 林鉄次郎	昭和八年
十一代 橋本七蔵	昭和八年
十二代 中里貞次郎	昭和八年
十三代 富沢平馬	昭和八年
十四代 国分信吉	昭和八年
十五代 内桶勝次	昭和八年
十六代 伊藤新一	昭和八年
十七代 渋谷軍平	昭和八年
十八代 松本 博	昭和八年
十九代 若宮正安	昭和八年
二十代 池田 正	昭和八年
二十一代 高田文夫	昭和八年
二十二代 栗原武男	昭和八年
二十三代 植松 豊	昭和八年
二十四代 平本文男	昭和八年
二十五代 岩下藤太郎	昭和八年
二十六代 佐藤春近	昭和八年
二十七代 坪井忠守	昭和八年
二十八代 常苗千代松	昭和八年
二十九代 松本 翠	昭和八年
三十代 勝又高良	昭和八年
三十一代 常盤具美	昭和八年
三十二代 船橋忠利	昭和八年
三十三代 菱山 昇	昭和八年
三十四代 矢野武雄	昭和八年
三十五代 市川秀雄	昭和八年
三十六代 長谷川忠道	昭和八年
三十七代 窪田龍雄	昭和八年
三十八代 小林 傑	昭和八年
三十九代 山内一夫	昭和八年
四十代 志水良平	昭和八年
東日本旅客鉄道株式会社	
一代 深井賢一	平成元年
二代 三宅辰雄	平成元年
三代 稲野邊 護	平成元年
四代 矢部輝夫	平成元年
五代 榎本二三	平成元年
六代 中島正二	平成元年
七代 森下美津男	平成元年
八代 皆川弘美	平成元年
九代 橋本真市	平成元年
十代 勝又 勤	平成元年
十一代 根本清美	平成元年
十二代 西室正士	平成元年
十三代 板垣道幸	平成元年
十四代 土門 慎	平成元年

街を歩けば
出合いの輪を広げて

駅に行こう

ほぼすべてが調う〈JR 立川駅〉へ

2023年6月1日「立川駅の顔」が変わりました。

土門 慎さん。
立川駅 第54代駅長です。



詳しい記事はネットでどうぞ

1日の始まりは、駅構内を見て回ること。ホームにいる社員や改札にいる担当者に声をかけます。

—7月29日に開催された「立川まつり 国営昭和記念公園花火大会」は4年ぶりの開催でした。新任の立川駅でいかがでしたか。

土門 それぞれの部門の方々、警察や商工会議所の方々も含めて、皆さんの「成功させるのだ」という気持ちがしっかり伝わってきたイベントでした。私たちも、社員1人ひとりが「一生懸命やらなければならぬ」という緊張感を伴った気持ちを胸に取り組みさせていただきました。おかげさまで何事もなく無事に終わってホッとしています。

—土門さんはどちらのご出身ですか。

土門 山形県です。新潟管理局から東京へ、大船電車区で運転士を経て輸送指令へ。東京圏輸送管理システムのまだ無い時代、多くの人と関わりお世話になりました。以来、ずっと首都圏で勤務し、蒲田駅の駅長から今回初めて八王子支社管内に異動しました。明治22年に始まる立川駅の第54代駅長です。輸送指令時代には私はまだ若造でしたから、中央線の八王子や立川は要の駅で、一番



東日本旅客鉄道株式会社 八王子支社 立川営業統括センター 立川駅 第54代駅長 土門慎さん

お世話になりましたね。立川に思い入れがあることはまちがいないです。

—国鉄時代の入社ですか。

土門 そうです。国鉄に入社しました。立川駅では唯一の国鉄入社組になりました。国鉄時代もJRに民営化されてからも、出向することはなく、いわゆる本体で仕事をしてきました。ですから私は今でも運転士、乗務員の背番号を背負っているような気がしています。



—JR東日本は、電車を動かし人や物を運ぶプロ集団から、いろいろな事業展開をし、なんでもできる超優良企業になりました。

土門 私もサービス系や営業系、総務系の仕事もしてきましたが、何をやっても面白かったですね。まだまだ発展し続けていますから、もっともっと会社は変わっていくと思います。

—東日本大震災の時も立川駅に人は集まってきました。お友達と待ち合わせしても、食事をしようと思っても、何かをするには「とりあえず駅へ行こう」が現状です。なんでも揃う駅だからですね。

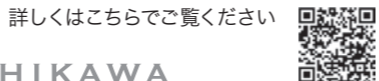
土門 それこそ「Beyond Stations 構想」です。「交通の拠点」を超えてヒト・モノ・コトが“つながる”「暮らしのプラットフォーム」です。東京駅などはまさに1つの街ですからね。街の皆さんとつながって、その輪を広げ、立川駅もまだまだ変化し発展しています。その中で、第一義の安心・安全を守っていきたいですね。

土門駅長、ずっと都内で働いていらしたのに、お住まいは高尾なのとか。蒲田にも通っていらしたそうですが、ぐっと近くなってよかったですね！



土門駅長(左)と、立川駅 副駅長 戸島慶太さん





えくてびあんの輪

えくてびあんはリストのお店にあります。
 今月は 富士見町・緑町・泉町・西砂町・一番町・上砂町
 砂川町・柏町・幸町・若葉町・栄町 のお店です。

- 富士見町**
 - 乙黒東洋整骨院.....523-1859
 - インテリア アイアイ.....522-5972
 - 多摩信用金庫 富士見町支店528-1741
 - 酒 ESPOA おぎの.....522-4500
 - (株)立川印刷所.....524-3268
 - 日本交通立川(株).....528-2151
 - 松栄寿司.....524-6958
 - ふじみ食堂.....523-4791
- 緑町**
 - 多摩信用金庫 本店.....526-7700
 - GREEN SPRINGS info 524-2222
 - Adam's Awesome Pie 595-8375
 - 国立国語研究所.....540-4300
 - 国立極地研究所.....512-0652
 - 南極・北極科学館.....512-0910
 - 国文学研究資料館.....050-5533-2900
 - 花みどり文化センター.....528-1751
 - 昭和天皇記念館.....540-0429
- 泉町**
 - インヴォラーレ・ルーデンス
 - 立川ルーデンステニスクラブ 525-9677
 - blooming bloomy 548-1215
 - 海上保安庁海上保安試験研究センター 526-5630
 - Café はあもにい♪.....512-7810
 - 大和ハウス工業(株)東京西支社 525-1821
- 西砂町**
 - 砂川庵 甚五郎.....531-6788
- 一番町**
 - 私立立川ひかり保育園.....531-1273
- 上砂町**
 - B3+ギャラリーウェルメイド 538-7250
 - fresh shop スーパーはしもと 536-2331
- 砂川町**
 - ファーマーズセンター みのーれ立川 538-7227
 - 陶工房 己流庵.....537-6102
 - 多摩信用金庫 砂川支店.....535-4411
 - 珈琲豆焙煎工房 まめ吉.....535-1070
 - BREAD & Sweets マニシェール 537-2202
- 柏町**
 - 山梨中央銀行 立川支店.....536-0871
 - 株式会社 セレモア.....534-1111
 - 超こつてりらーめん パワー軒 535-1665
 - H.works.....537-7763
 - ペーカリー リオンドール.....535-4882
 - (有)まつい測量.....534-4411
 - ピーコック 玉川上水店.....538-3861
 - 菅家医院.....536-4602
- 幸町**
 - いなげや 立川幸町店.....537-1820
 - 多摩信用金庫 幸町支店.....535-5311
 - 中国料理 SANFUJI.....536-3813
 - 西武信用金庫 幸町支店.....537-3101
 - お米屋さん 大黒屋.....536-0851
 - 松浦商事株式会社.....535-6001
 - 至誠キートンホーム.....538-2323
 - とんかつ・割烹 かつ亭.....535-4611
 - ドイ製法ハム・ソーセージ ゼーホフ工房 535-5009
 - 和洋菓子 たちばな.....537-0347
 - 青梅信用金庫 玉川上水支店 535-3411
 - BS タイヤショップ 佐藤商会 537-0912
 - 在宅療養支援診療所 立川在宅ケアクリニック 534-6964
 - 古楽の小屋 ロバハウス.....536-7266
- 若葉町**
 - スーパー ヤオコー.....538-1711
 - ありた整骨院.....534-1622
 - カフェ タイニーガーデン.....507-1346
 - カフェ・レストラン てたく 536-5788
- 栄町**
 - 多摩信用金庫 栄町支店.....536-9711
 - いなげや 立川栄町店.....523-7201

4年ぶり諏訪祭り

8月25日～27日、4年ぶりに諏訪神社例大祭が行われました。特に何を買うでなくても屋台の出店が並ぶ様子が心が躍ります。提灯に火が入るとワクワクするし、それらしい法被姿に気持ちが高揚する人も多いのではないのでしょうか。諏訪神社の境内を中心に地域の方や見物の方も入り混じって、立川駅周辺は相当な人出となりました。ダイジェストでその様子をお伝えします。他の写真もご覧になりたい方は、QRコードからえくてびあんのnoteをご覧ください。都内ではゲリラ豪雨に見舞われた日、立川は怪しい雲行きながら濡れずにお祭りが無事終了しました。



26日柴崎町町会神輿の宮出しの様子



26日諏訪神社にある土俵で奉納相撲行司は裏表紙に掲載の石田哲也さん



真如苑さんにお神輿がご挨拶にやってきました



立川市指定無形民俗文化財「獅子舞」 いよいよ出番です(立川市獅子舞芸能保存会が伝統を絶やさないよう努力されています)



諏訪神社の参道を、棒使いが先導で獅子舞一行がやってきました



諏訪神社の土俵上で繰り広げられる獅子舞 獅子が3、天狗が1、棒使いが2で今年は奉納



諏訪神社から町会に目を移すと、宮出ししたお神輿が練り歩いています



一方北口では、諏訪神社の氏子である曙町のみなさんがあけほの夏まつりを盛大に。お神輿が出ていくとサンサンロードでは盆踊り。パレスホテルを背景に踊るのは今年が最後になりますね。

『立川の研究者たち』プレゼント

国立極地研究所創立50周年を祝して、えくてびあんでも8月から研究者のインタビューを連載しています。6年間所長を務められた中村卓司先生を始め、宙空圏、気水圏、地圏、生物圏それぞれの研究グループのグループ長が語ってくれる地球の真実。贅沢な企画です。これまでも国語研、国文研、統数研、極地研と立川にある国立の研究機関へのインタビューは折にふれて実施してきました。過去のインタビューは『立川の研究者たち』という冊子にまとまっています。極地研50周年記念に、『立川の研究者たち 極地研バージョン』をプレゼントします。ご希望の方は以下の要領でご応募ください。



『立川の研究者たち 極地研バージョン』

〈応募方法〉

ハガキに、住所、氏名、年齢、連絡先、希望冊数を書いて、〒190-0023 立川市柴崎町2-1-10高島ビル4階 えくてびあんプレゼント係までお送りください。数に限りがありますので、先着順でお送りします。締め切りは2023年12月31日。

猛暑を跳ね返す熱戦でした

8月19日～20日、タチビビーチで『関東高等学校ビーチバレーボール男女選手権大会』が開催されました。本当に強い日差し！観戦する方にも覚悟がいるという状況下、高校生は元気です。力強いゲームを見せてくれました。初日の19日は予選リーグ、2日目の20日は頂点を決めるトーナメント。男女とも東京代表が優勝。男子チーム優勝の選手たちは普段からタチビビーチで練習をすることがあるのだとか。着々と「立川から世界へ」が形になりつつあります。



優勝した2チーム 右から、稲垣、高橋、森、宇都木の4選手

ダイス新体制発表

8月27日、アリーナ立川立飛で「立川ダイス2023-2024シーズン新体制発表会」がありました。原宏樹社長のお話の後、立川ダイスの新しいユニフォームや新しく登場する新キャラクター(かまいたちをデザイン化)などの紹介があり、間橋ヘッドコーチと選手の意気込みなどをうかがいました。昨年からの引き続き立川と共に頑張る選手、新規参入して一緒に闘っていく選手。「すでにマインドはできている」と間橋HCがおっしゃるよう、すっかり打ち解けて開幕戦に向かう準備はOKな様子でした。街中に入っての地域貢献活動も昨年以上に行うそうですが、選手にはとにかく試合で勝ってほしい。応援しています！



今季キャプテンの森貴州(MORI OUSU)選手と副キャプテンのアンドリュー・フィッツジェラルド選手



今シーズンを共に闘うメンバー

表紙

波打つ橋(日野橋)

1926年に日野と立川を結ぶ橋として登場した日野橋。以来多くの交通を支えてきました。立川の産婦人科にかかっていた日野市在住の妊婦さんが、「タクシーで来ても間に合わないかもしれないから、陣痛が来たら十分注意してね」と助産師さんに言われたというのが35年前。立日橋ができるまで、日野橋を頼るしかなかった多摩川越えてきた。2019年10月12日の台風19号で、老朽化した橋脚の1本が沈下。立川寄りの一部分が凹んで通行止めに。その時に撮影した写真です。橋の架け替え工事は12年かかるそうですが、それでも日野橋を架け替えている間使う仮橋はもうすっかり形を整えました。情緒ある橋の上の街灯も消えていくのか...とは思いますが、安全を最優先に将来を見据えて先に進むのが一番ですね。

かたこと

◆台風が次から次へとやってきて、災害につながらないようにと祈るばかりです。また今年は水の事故も多く感じます。そんな折、じんわりと増えているコロナ罹患者。まだまだ油断はできません◆4年ぶりというフレーズをよく聞きます。人を入れてのイベントはほとんど4年ぶりなのではないでしょうか。諏訪神社例大祭には大勢の人が出ていました。立川では平成元年から始まった「よいとまつり」が10月14日に行われます。一昨年からはまったGREEN SPRINGSの「妖怪盆踊り」も10月最初の連休に開催されます。いつのまにか、夏祭りから秋祭りに移行している様子がありますが、それもこの暑さなら「さもありなん」◆JR中央線のグリーン車の登場もまもなくです。試運転も始まっているそうです。窓の位置が変!と思ったら、それは2階建てのグリーン車両。12両編成になるためのホーム延伸工事も進んでいます。「グリーン車、乗ってくださいね」とは副駅長◆いろいろなことが小さくも大きくも変わっているのが現実。変わりゆく中で変わらないのも大事です、変化に合わせていくのも大事。時に立川は新しい市長を迎えて、何かが変わっていくはず。どう変わろうと、いつも周囲の人を元気づけ喜ばせていける自分でありたいと願うえくてびあんです。 えくてびあんスタッフ一同

えくてびあん ㊄

10月号 第40巻 通巻463号

令和5年10月1日発行
 発行 有限会社えくてびあん
 〒190-0023
 東京都立川市柴崎町2-1-10 高島ビル4F
 TEL 042-528-0082 FAX 042-528-0065
 E-mail message@tamatebakonet.jp
 URL https://www.tamatebakonet.jp
 発行人 黒須 環
 企画・写真・編集 えくてびあん編集スタッフ
 デザイン 池田隆男 (WATER DESIGN ASSOCIATES)
 印刷 ダイオーミウラ株式会社・DECK C.C.

無断転載を禁じます。

あの頃の立川

創刊から40年——⑤

今は指導者です



えくてびあんの写真から

1996年に撮影した写真です。写っているのは石田哲也さん、当時11歳。4歳から諏訪神社にある練成館で相撲の稽古に励み、2000年8月には「第11回全国都道府県中学生相撲選手権大会」で見事優勝、日本一になりました。高校は相撲強豪校である埼玉栄高校に進学し、2003年、大相撲の世界へと進みました。四股名は「浜栄光」。三保ヶ関部屋から尾上部屋へ、小兵ながらその世界で頑張って2020年1月に引退。その後は(株)立飛プロパティマネジメントに勤務、大相撲夏巡業立川立飛場所には欠かせない重要な役割を担っています。現役時代は、折りに触れてえくてびあん事務所によく遊びに来てくれました。鬢付け油の香り豊かにやってくるのですが、同年代の武隈親方(元豪栄道)や秀ノ山親方(元琴奨菊)も子どもの頃には練成館に来たことがあるという話くらいで、ほとんど話さず。無口なんだなあと思っていたのですが、なんの、なんの、引退されてからはよく話をしてくれます。練成館で後輩の指導もしつつ、現在38歳、だんだんよく働く、普通よりちょっと大きなおじさんになりつつある石田哲也さんです。

他の写真はこちらで

